

アグアスだより

2013年9-2月号

君ならできる

ある日家に帰ると、プレゼントが待っていました。その名もビリーズ・ブート・キャンプ（注）。私のお腹を改造するために、家族が計画した優しい（よけいな）心遣いでした。その日から基礎編の練習が始まりました。やってみると、さすがに人気のエアロビクス。体操の組み立て、バックの音楽とリズム、巧みな話術など、よく考えられたプログラムに感心させられます。とりわけリーダーの存在感が魅力的です。彼から機関銃のように繰り出される指示は、人を引きつけ、元気を奮い立たせ、集中力を高める効果があります。そして圧巻が、苦しくて「もうだめ！」となった時、彼から発せられる励ましの言葉です。「あきらめるな！君ならできる！」と。この言葉で、なえた気力は回復し、再び挑戦しようとする力が湧いてきます。この「ほめる」とも「しかる」とも異なる励ましには、実に新鮮な響きとさわやかな感動がありました。「君ならできる！」と励まされたことなど久しぶりのことです。しかし、後で冷静になって考えてみると、テレビの前で「サーコ！サーコ！」などと運動している様子は、とても人に見せられたものではありません。

さて、この「君ならできる」という励ましの言葉（？）を、私は遙か昔にも聞いた覚えがあります。それは中学生の頃です。私はこの言葉によって、生まれ変わったと言

っても過言ではないのです。ビリーの励ましから、その埋もれた記憶がよみがえってきました。

私の中学生時代、学校に江川先生という国語の先生がいました。中学校に進学して、すぐに出会った先生でした。江川先生の国語の授業は実に魅力的でした。よどみなく話される言葉、歯切れのよい説明、テンポのよい授業展開、好奇心を刺激する話の数々、どれひとつとっても子どもを引きつけて離さないものがありました。その一方で、歯に絹を着せずにズバズバものを言う厳しい先生でもありました。先生は生徒のだれからも尊敬されていましたが、私にとってはそれ以上の存在でした。例えばこのようなことがありました。授業中に、先生は私を指名して、私ができないでいると、必ず、瞬時「あれっ？」という表情をします。言外に「君ができないの？」と言っているのです。そして誰もができない問題を「大越君やってみて」と平気で指名するのです。私にばかりたくさん課題が与えられます。小学校時代の私は、かなりの劣等児でした。先生のそうした過大な期待に応えられるわけがありません。でも先生はそのようなことは歯牙にもかけないのです。先生が意地悪をしているのではないことは、私にも直感的にわかりました。先生の目線や表情や所作などすべてが語っていたのです。「君ならできる」と。先生は本気で私に期待していたのです。それが廊下ですれ違

っても、掃除をしても、注意を受けていても、叱られていても常に感じられたのです。それから私の勉強が始まりました。私も本気になったのです。その結果、底辺にいた私の成績は上がって、学級でも常に上位を占めるほどになったのです。でもそのことについて、江川先生は一度として私を褒めてくれたことはありませんでした。

「君ができた？そんなことは当然じゃないか。別に褒めるほどのことでもないよ」。先生は無言のうちにそう語っていたのです。先生は特定の子をひいきする教師ではありませんでした。私との間にも常に厳しい距離感があったのです。「先生を喜ばせたい」、そのいっしんで勉強した私ですが、後になって考えるとそれがよかったのかもしれない。期待に応えるための勉強は、いつしか自分を高めるための勉強に転化していたのです。江川先生が目をかけてくれた生徒が、私だけだったのかというと、それはわかりません。しかし、先生が多くの教え子から慕われ尊敬されていた事実から察すると、先生のそうした教育は、あまねくすべての教え子に及んでいたのだと思います。また、「それが先生の教育法なのか」と問われても、私は疑問に感じます。先生のそうした指導には一切の技巧が感じられず、いつも自然体であったように思い出されるからです。先生は普通に振舞うだけで、子どもたちに素晴らしい教育効果を与えていたのです。まさに天性の教師であり、ペスタロッチなどの優れた教育者だけがもつ天賦の才能を備えた方だったのでしょうか。そうした才能ある教師に比べると、今の私などは足元にも及びません。しかし、そうした教師に学び、模倣し、子どもたちの教育に

生かすことはできます。子どもの可能性を信じ、「君ならできる」と期待をかけ、働きかけをすることは、教師であれ保護者であれ、だれでもが意識すればできることだからです。先生の教育を受けたせいでしょうか、私には「褒めて育てる」や「叱り方の方法」等の本にあるような単純な技術だけで子どもが育つとは、にわかには信じられません。人間を根底から揺さぶり真に変える教育は、子どもを心から信頼し期待し励ますことでしか為し得ないのではないかと考えているからです。

ブート・キャンプのおかげで、大事なことを思い出すことができました。しかし、ビリー先生、大切なことを思い出させてくれたのはいいのですが、肝心のダイエット効果がちっとも表れないのですけれども！！

(注) 数年前に人気化したDVD (らしい)

励ましの効果

教育心理学で、教師の期待によって学習者の成績が向上することを、ピグマリオン効果、別名、教師期待効果と呼んでいます。励ましの効果とは、こうした現象のひとつかもしれません。でも、私には、次のような言葉が一番ぴったりくるのですが、いかがでしょうか。

「人間は、生まれながら、好きな人、尊敬する人のいうことに従うようにプログラミングされている」(コンラート・ローレンツ：ノーベル医学生理学賞受賞者)